

■ 本部事務所 ☎(082)831-5011 FAX(082)831-5013 Eメール:asami@shakyohiroshima-city.or.jp
 ■ 佐東老人いこいの家 ☎(082)879-7880(FAX兼)

「人ごとにならない 福祉のまちづくり」

八木学区社会福祉協議会について松本勝会長、山田仁恵地域福祉推進委員、田中早苗民生委員にお聞きしました。

Q.地域デビューをしたきっかけは何ですか？

A.松本会長：自分は市役所勤務で小学校のPTA会長や民生委員などしていました。定年した時に「社協の役員をやってほしい」と地域の先輩方に声をかけられたことがきっかけです。今年で3年目になります。



左から、山田地域福祉推進委員、松本会長、田中民生委員

A.山田地域福祉推進委員：ずっと自分と母親の事で精一杯で、地域と関わることから避けていました。私が病気で手術した時に、私より年下の方が看病してくれて地域の人達が気にかけてくれました。その時に「これだ！」と感じ、誰かのために恩返しをしようと思ったのがきっかけです。

Q.この度「平成30年7月豪雨災害」が発生して広島県広域で被害が出ていました。4年前の「8.20広島豪雨災害」を経験されて必要と感じたことはありますか？

A.松本会長：自宅が土砂に巻き込まれて2日間外に出ることができませんでした。「やらんといけん」と思い周りの関係者と連絡をとりました。地域として生活避難場所などの運営をしないとはいけませんが、地域住民も協力して運営に携わることが大切だと感じました。朝から夕方まで汗だくで作業してくれたボランティアの皆さんには、本当に頭が下がります。4年前は夏も終わり頃でしたが、今年は猛暑なので体調には気をつけて欲しいです。

A.山田地域福祉推進委員：災害発生時は必死だったので、災害について近所の人と話したのは1ヶ月経ってからでした。サテライトのスタッフと頻りに連絡を取っていたので、地域からのボランティア要望に円滑に対応できたのではと思います。

A.田中民生委員：朝はボランティアの皆さんへの対応をして夜は次の日の準備をするなど大変でしたが、ボランティアの皆さんが活動している姿を見て自分たちも気力が出ました。

昔は「おより」という地域住民が集まる機会が頻りにありました。現在は年1回の開催ですが、日頃から顔を合わせている事は大切だと思います。

今はサロンの担当をしています。みんなから「やることがあったら言ってね」と連絡があることがあり、それが涙が出るくらいとてもありがたいです。協力し合える関係が『宝』だと感じています。

「皆が幸せに暮らせる 地域を目指して」

「沼田老人いこいの家」を拠点に、福祉のまちづくりに取り組まれている伴学区社協の伴晴英会長、川本一之副会長、稲葉憲治地域福祉推進委員にお聞きしました。

Q.伴会長の伴学区社協に対する思いを教えてください。

A.生まれてからずっと伴で生活しています。現在までに、町内会長なども担ってきましたが、学区社協に関わるようになったのは、約10年前からです。

きっかけは、今まで生活してきた地域への感謝を感じており、今度は自分が何か地域への恩返しをしたいとの思いからです。

地域の活動は、「させられるもの」でもなく、「やってあげるもの」でもない。地域のことを手伝わせてもらっているものだと考えています。

学区社協としては、「皆が幸せに暮らせる地域を作る」ために活動していますが、現実としては、共助が推し進められる一方で、担い手不足が深刻な問題として存在することも事実です。

私は自身の入院経験から、「住み慣れた土地の、住み慣れた自宅で暮らし続けられること」こそが、人間の幸せだと考えており、伴学区がそのような地域になることを望んでいます。

今年度中には、学区社協の拠点である「沼田老人いこいの家」が新しく生まれ変わります。

この機会を捉え、学区社協のあり方や現状を見直す作業に取り組んでいます。



右から、伴会長、川本副会長、稲葉地域福祉推進委員

Q.地域の取り組みで力を入れていることを教えてください。

A.一つ目は、生活道路を守ることです。

伴学区は、細い道が多く、歩道もなく、高齢者や通学の子ども達を自動車が縫って走行する危険な場所があります。

また、今年度、新沼田合同庁舎(仮称)が完成し、更なる交通量の増加が予想されます。

安全な地域とは、「誰もが安心して歩くことができる地域である」ことから、行政に働きかけ、ガードレールの設置や「ゾーン30」の指定を受けました。また、「ゾーン30」未指定地域では、高齢者交通安全モデル事業の指定を受け、「ゆっくりんロード」として「やさしい運転の輪」を広げる活動をしています。

二つ目は、年間を通じて実施しているラジオ体操です。

広島県の健康寿命は全国最低の状況にあります。

日々の生活が健康に関係するものと考え、正月と盆の計6日以外は、毎日ラジオ体操を実施しています。

平均して50~60名の参加があり、夏休み期間中は子ども達も加わり賑やかになります。

引き続き、町内会や子ども会など地域の組織とも協力して取り組みをすすめていきたいと思っています。



介護予防・日常生活支援総合事業について(その1)

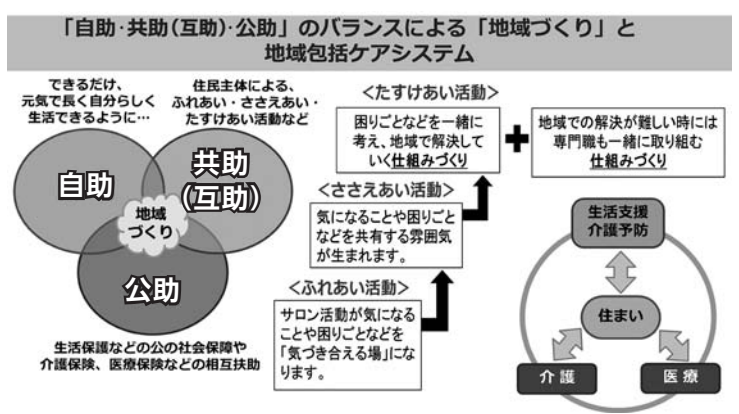
介護保険制度の中で行う介護予防や生活支援のための事業です。

住み慣れた地域で住みよい地域づくりを目指すために、『地域高齢者交流サロン』『介護予防拠点』などの「通いの場」を充実させたり、介護保険では提供できなかった「生活援助」や「ちょっとした困りごと」を「地域の助け合い」で支えていく『住民主体型生活支援訪問サービス』の整備を主に取り組んでいます。

取り組みには図のような「自助」「共助(互助)」「公助」の充実が「地域づくり」につながるとされる『地域包括ケアシステム』の充実を目指しています。

このような活動のお手伝いをさせていただき、「地域づくり」における課題の解決と一緒に取り組んでいきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願ひします。

(安佐南区生活支援コーディネーター 江角)



ボランティアセンター通信

ボランティア入門講座のご案内

●音訳ボランティア入門講座

視覚に障がいのある方々が情報を得る方法のひとつとして音訳があります。「音訳」とは「声」で情報をお届けする活動です。朗読とは違い、リスナーの方が聞き取りやすい音声で情報を正確に伝えることを目的としています。音訳方法を学び、ボランティア活動を始めてみませんか。

日時 平成30年10月2日から
10月30日までの毎週火曜日
10:00~11:30(全5回)

参加費 無料

定員 15名

締め切り 平成30年9月25日(火)

場所 安佐南区総合福祉センター

第9回安佐南区ボランティアまつり 開催中止のお知らせ

平成30年7月に発生しました西日本豪雨災害により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

このたびの災害発生に伴い、9月23日(日)に安佐南区総合福祉センターにて開催を予定しておりました「ボランティアまつり」を中止させていただくことになりました。

楽しみにされていた皆さまには、大変ご迷惑をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

安佐南区ボランティア連絡会の加入グループを紹介します。

音訳ボランティアむつみ会

こんにちは、区社協のボランティア担当です。
今回は音訳ボランティアむつみ会に活動の様子取材してきました。

(区社協)
音訳ボランティアむつみ会はどのようなボランティアグループですか？
(音訳むつみ会)

私達のグループは1983年にスタートしました。目の不自由な方に対して、「声」で情報をお届けするグループです。リスナーの方が聞き取りやすい音声で、「わかりやすく」「正確に伝えること」を心がけて活動しています。

(区社協)
どのような内容を音訳され提供されていますか？

(音訳むつみ会)
「区報あさみなみ」をはじめ、「中国新聞の天風録」その他コラム、読者の投稿、公民館だよりやお出かけ情報などを音声訳し、カセットテープやCDでお送りしています。

(区社協)
本当にたくさんの方々が、音訳むつみ会さんの音訳された情報を心待ちにしておられ、楽しみにされておられます。以上、取材の様子でした。



平成30年7月5日リスナー交流会の一場面

赤い羽根 共同募金のお礼

赤い羽根共同募金 70th

「赤い羽根共同募金」へのご協力をありがとうございました。
皆さまからお寄せいただいた募金、「赤い羽根共同募金」は区社会福祉協議会の「新福祉のまちづくり総合推進事業」や高齢者支援、障がい者支援、子育て支援等々の福祉活動に使わせていただいております。

平成29年度広島市安佐南区共同募金委員会募金実績額

15,538,182円 平成30年3月31日現在

紙面をお借りして、募金をくださった地域の皆さま、活動にご尽力いただいた関係者の皆さまにお礼申し上げるとともに今後とも、「じぶんの町を良くするしくみ」のひとつとして、共同募金へのご協力をよろしく願います。

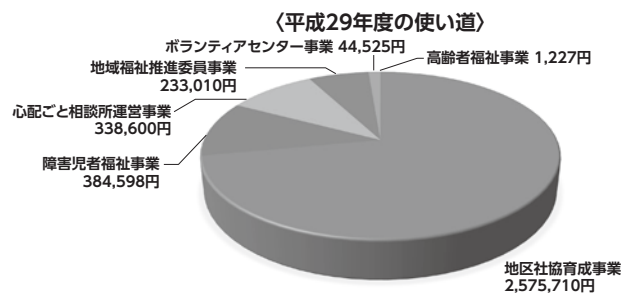
安佐南区社会福祉協議会 正会員会費 募集

安佐南区社会福祉協議会では、学(地)区社会福祉協議会を通して区民の皆さまより、平成29年度は、52,100世帯・計2,605,000円(一口50円)正会員会費をお寄せいただき、地域福祉を目的とする高齢者・障がい児者・子育て支援やボランティア活動の推進強化に活用しました。

皆さま方のご支援、ご協力に対して、厚くお礼を申し上げます。

なお、現行の支援活動や当事者活動への支援活動が本来の目的に合っているのか、また、時代に要請される取り組み支援になっているのか見直しも必要に考えております。

今後とも、よろしく願いいたします。



寄付は地域を支える第一歩

皆様からの温かいご支援が、福祉の向上への大きな力になります。寄付はそのひとつの方法です。

☆このようなときに、寄付というのはどうでしょうか？

- 長寿や結婚、金婚式などのお祝いの記念として
- フリーマーケット・チャリティーバザーなどの収益金を
- グループの忘年会、会合などの会費の一部を
- 香典返しに代えて
- お店などの募金箱から

寄付についてのご案内

いただいたご寄付は、下記の事業に使わせていただきます。

☆主な寄付金の使途

- 地域福祉事業 ●障害児者福祉事業
- ひとり親福祉事業 ●ボランティア事業

☆寄付金のお申し込み・お問い合わせ先

広島市安佐南区社会福祉協議会事務局
〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13
TEL(082)831-5011 FAX(082)831-5013

♡まじゅうに感謝いたします

お寄せいただいた善意は地域福祉のため、有効に活用させていただきます。

(平成三十年三月一日、平成三十年七月三十一日まで
—受付順—)

○一般寄附

広島美しい町協同事業協会様
学校法人武田学園 広島文教女子大学様
広島大学の会 安佐南区方面様

安佐南区くらしサポートセンター

様々な理由により生活に悩みや不安を感じている方の相談窓口です。

「長い間仕事から離れていて、なかなか仕事が見つからない」、「家計のやりくりが難しい」、「借金を抱えて生活が苦しい」などの相談をお受けしています。

所在地 広島市安佐南区中須1-38-13
安佐南区総合福祉センター5階

電話 082-831-1209

電話や来所だけでなく、
相談員が出向く訪問相談も可能です。



弁護士相談

毎月第3水曜日
13:00~15:00(要予約)

金銭トラブル、不動産、家庭問題、遺産相続など分かりにくい法律の疑問に弁護士がお答えします。

まちな保健室

在宅看護職の会が健康相談を行います。

佐東老人いこいの家
第1・3月曜日
10:30~12:00

祇園福祉センター
第2・4水曜日
13:00~15:00

子育てサークル相談

不定期 月1回
10:00~14:00

先輩ママ「MaMaぼっけ」による子育ておしゃべりの場です。はじめての子育て、仲間づくりを応援しています。また、子育てサークルのことや子どものこと、ママ、パパたちの悩みなどの相談にのっています。ママ、パパの気分転換にどうぞ!

掲載記事へのご意見・ご感想・お問い合わせ先

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会事務局 〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13
TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013 E-mail: asami@shakyohiroshima-city.or.jp